

## 水辺の生きもの図鑑 〜魚類など〜

鹿児島市では、川の上流ではタカハヤ、上流から中流にかけてオイカワ、中流から下流にかけてカワムツがよく見られます。流れがおだやかな川の中流や下流ではコイなどが見られるほか、汽水域\*\*ではボラなどが見られます。また、サワガニやヒラテテナガエビなども見られます。

※淡水(塩分をほとんど含まない水)と海水が混じりあった、塩分の少ない水。



タカハヤ 冷たい水を好むため、上流に多い。体は ヌルヌルしている。



オイカワ 明るい瀬に多い。産卵期のオスはきれいな青、赤、黄色に色づく。



カワムツ 濃い藍色の線が特徴。産卵期のオスは、 鮮やかな朱色になる。



サワガニ 川の上流にすみ、県内では青白色から 赤色までいろいろ見られる。



コイ 食用のほか、観賞用のニシキゴイも有名。コイには幼魚の頃からヒゲがある。



アユ 清流の魚として、古くから親しまれている。 甲突川のアユ釣りが有名。



メダカ 主に水田や水路など、止水域に生息する



**ヒラテテナガエビ** ハサミがやや太く、早瀬など流れのある ところにすむ。



ボラ 汽水域に多く、市街地の川でも見られる。水面を高くジャンプする。



ドンコ 水草の中や石の下に隠れて、小魚や水 生昆虫などを捕らえる。



ゴクラクハゼ 下流の汽水域に多い。川底が砂地のと ころを好む。



ニホンイシガメ 昔から親しまれてきたが、最近、数が減っ ていると情報あり。

## 水辺の生きもの図鑑 ~鳥類~

鹿児島市では、セキレイ類やカワラヒワ、スズメ、キジバト、カラス類などが市街地でよく見られ、川幅の広い甲突川や永田川では、サギ類を中心に多くの鳥類が見られます。特に永田川はセイタカヨシなどの植物が大きな群落をつくり、鳥たちが安心して休める空間となっています。



キセキレイ 水辺にすむセキレイ類で、黄色い腹が特 徴。



**ハクセキレイ** 冬に見られ、道路の街路樹で休むことが 多い。



カワラヒワ スズメとよく似ているため間違われるが、 カワラヒワは翼に黄色い帯がある。



**ムクドリ** くちばしと足が黄色い。数万羽の群れを つくることもある。



カワセミ 市街地の川でも見られることがある。水 中にダイビングし、魚を捕らえる。



主に動物の死体を食べる。カラスに追いかけられていることが多い。



**アオサギ** 大きいためツルと間違われるが、アオサ ギは首を曲げて飛ぶ。



川や田んぼでよく見られる。くちばしが黒く、足先の黄色が特徴。



カルガモ 川や水田で見られ、中州や竹林など人 目につかない所で子どもを育てる。



**ヒドリガモ** 鹿児島県では冬に見られる。数百羽以 上の大きな群れをつくる。

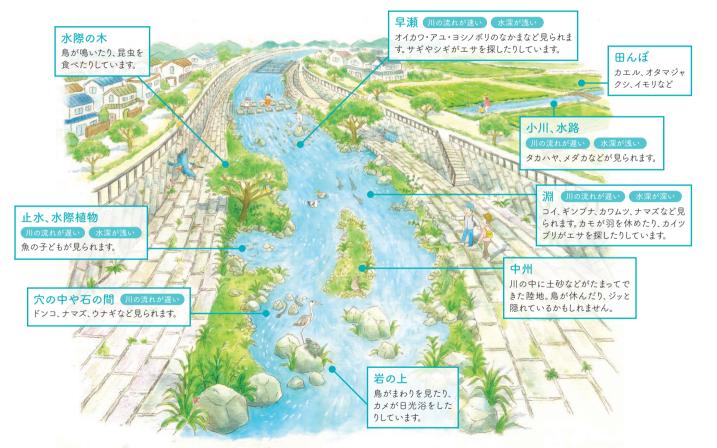


バン □ばし付近の赤と黄色が目立つ。植物の 多い川や池に生息する。



オオバン 体全体がまっ黒でくちばしと額が白いが 特徴。

## 水辺の生きものをさがしてみよう 川などでは、流れの速さ、深さ、植物の生育状況などでいろいろ な環境が見られ、様々な生きものが生息しています。



## 水辺を楽しむ8か条

川などで遊ぶときは、水辺を楽しむ8か条があります。この 8か条を守って、ケガのないように楽しく遊んでください。

1.天気予報を見ること。雨が降る時、降った後は水かさが増えるから危ないよ。

川底には空きカンなどが 落ちていることもあるので 裸足は危ないよ!

- 2.子どもは大人と一緒に行くこと。
- 3.川では裸足やサンダルではなくて、靴や長靴を履くこと。
- 4.川の流れの速さを確認すること。
- 5.膝より深いところには、近づかないこと。
- 6.水の中では、ふざけないこと。
- 7.生きものは、むやみに持ち帰らないこと。

/ 川の流れは 思っている以上に 速いよ!

8.万が一ケガや事故が起きたときのために、病院や緊急連絡先なども確認すること。

